



物性研究所図書室
東日本大震災による
被災から
営業再開までのあゆみ

1. 3月11日の地震による被害

- ▶ 蔵書の3分の1（約2万冊）が落下。
- ▶ 落下による資料の破損。
- ▶ 書棚の部品も落下。
- ▶ 電動書架が故障。
- ▶ 書架の壁面固定金具が外れる。
（幸い、書棚は転倒しませんでした）

2. 被害の様子

(1) 図書の本棚



- ▶ 図書が落下し、通路を埋めている状態。棚から飛び出て落ちそうなものも多数。

2. 被害の様子

(2-1)製本雑誌の棚



- ▶ ほとんどの製本雑誌が落下し、通路の間に山となっている。

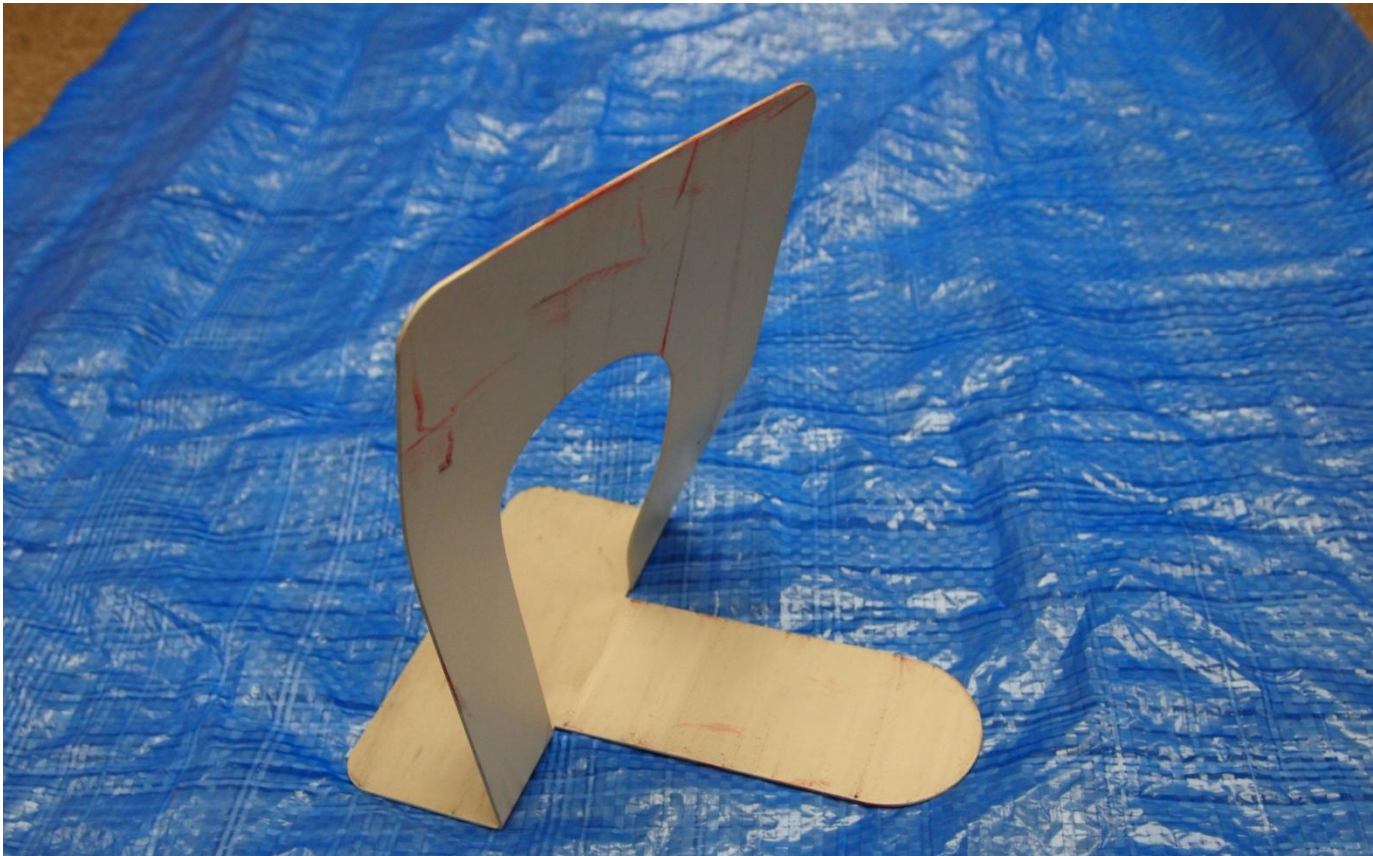
2. 被害の様子 (2-2)製本雑誌 誌の棚

- ▶ 落下した製本雑誌は、書棚の横にも流れだし、非常口（奥）までの非常経路をふさいだ状態に。



2. 被害の様子

(2-3)製本雑誌の棚



- ▶ ブックエンドも落下し、上に落ちた製本雑誌の重みでゆがんだ。
- ▶ 棚板や書棚の部品(スチール製)も落下した。

2. 被害の様子 (3) 電動集密書架(製本雑誌)

- ▶ 地震で書棚から飛び出した雑誌が落下。
- ▶ 書棚の隙間に引っ掛かって宙に浮いている雑誌が多数。
- ▶ 震動により、向かいの棚に1段分が移動した棚も多数。



2. 被害の様子

(4)新着雑誌の棚



- ▶ 新着の未製本雑誌も落下。奥にあるソファの足元まで広がっている。
- ▶ 左側の書棚の壁面固定金具が外れた。

3. 3月25日 落下資料の搬出作業

- ▶ 所内の協力により、2時間かけて廊下などに搬出。
- ▶ **参加人数 約80名**
- ▶ 6階の廊下が製本雑誌で埋め尽くされた状態に。
- ▶ この作業により、書棚などの状態確認、修理・補強が可能になった。

3. 3月25日 落下資料の搬出作業 (搬出後の廊下の様子 1)



廊下の壁に沿って積まれた雑誌



3. 3月25日 落下資料の搬出作業 (搬出後の廊下の様子 2)



← 図書室前の渡り廊下

↓ ラウンジ前の渡り廊下



3. 3月25日 落下資料の搬出作業 (搬出後に見つかった破損本)



約300冊が破損。



4. 書棚の修理・補強・地震対策

- ▶ 施設係による施設点検
- ▶ 補強ブレース(斜交い)の設置
- ▶ 耐震落下防止装置の設置
- ▶ 電動集密書架の修理・動作点検
- ▶ 書棚の壁面固定のやり直し
- ▶ 書棚および施設の性能と、利用者動線にあわせた資料の再配置計画

☆ この作業の間も、余震による資料の落下が続いていた。

5. 5月13,16日 資料の戻し作業

- ▶ 所内の協力により、2日かけて作業
 - 図書移動
 - 製本雑誌の並べ直し、棚戻し

▶ **参加人数**
約180名

☆作業のために
研究室から貸出
された大量の台車



5. 5月13,16日 資料の戻し作業 (作業後、資料が書棚に収まった様子)



3月11日より2カ月以上閉室しておりましたが、5月16日より営業を再開しました。その間、ご不便をおかけしたことをお詫びするとともに、図書室の状況にご理解をいただき、心より感謝申し上げます。

特に、作業にご参加いただいた延べ260名を超えるみなさま、本当にありがとうございました。

今後とも図書室の運営にご指導・ご支援いただきますよう、お願い申し上げます。

物性研究所図書室